

茅ヶ崎市社会福祉協議会 職員採用案内



茅ヶ崎市社協職員はみんなCSW

Chigasaki Shakyo Worker

= (わ)

Community Social Worker

- 社会福祉協議会は、それぞれの行政単位にひとつしか設置されていない、「地域福祉の推進」を目的とする組織です。
- 茅ヶ崎市社協職員は、困りごとを抱えた方に寄り添って、「地域で暮らせるように」課題解決に向けて取り組みます。
- 茅ヶ崎市社協では、「個別支援」とともに「地域支援」をボランティアや地域の活動者、福祉関係者、行政等と一緒に、「誰もが暮らしやすいまちづくり」を目指します。

「地域」で「しあわせ」に
暮らしていくことを支えます

1) 困りごとを解決する。

専門職として…各種相談（貸付、あんしんセンター、障害者生活支援センター）

地域のかたと…ボランティアセンター、地区社協等

2) 地域とのつながりを作る。

（サービスだけでなく、地域住民としてのつながり）

3) 地域力をアップさせる。

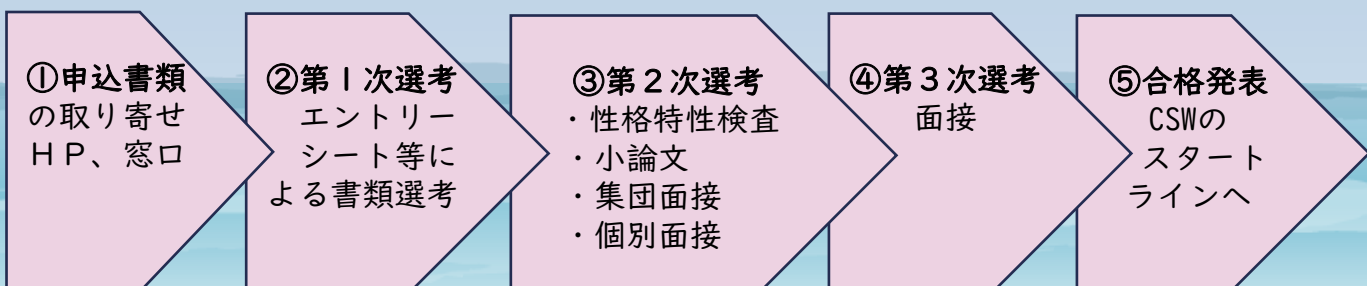
（困りごとに対する新たな活動・支援）

4) 計画や行政への提言（各種行政計画等へ）

★今回の採用試験はココが違う★

- いわゆる、教養試験は行いません。そのための準備は必要ありません。
- 面接等による人物重視での採用試験を行います。
- 困りごとを抱えた人を支える「**熱い気持ち**」を持った方を求めています。

★採用試験の流れ★



先輩職員紹介

名前 津田 華奈美
入職 2018年
所属 地域福祉担当



ある1日の流れ

- 8:30 出前講座のため、市内の学校に向けて出発！
- 9:00 学校にて出前講座
- 12:00 休憩
- 13:00 ボランティア講座の動画収録と編集、SNSの更新
- 14:30 ボランティア相談
「退職したので、ボランティア活動を始めたい」という男性が来所。
- 15:00 ハンディキャブ利用者宅へ訪問
利用者さんの今後の生活についてケアマネさんと一緒に考えます。
- 16:00 明日のC地区ネットワーク会議に備えて、資料作成
- 17:15 退勤

① 現在の業務

主にボランティアセンターの運営やハンディキャブ運行事業、地域支援に関する業務を担当しています。

② 入職したきっかけ

人と関わる仕事がしたい、資格を活かせる仕事がしたいと思っていたところ、茅ヶ崎市社協のホームページで職員募集情報を見つけました。

③ 社協の魅力・やりがい

幅広い知識が求められ、大変なお仕事ですが、人の役に立ちたいという強い想いを持つ方と一緒に働くことができるので、刺激となります。また、相談者の希望と地域活動が上手くマッチングし、生き生きと活躍されている姿をみると嬉しく思います！

名前 栢沼 玲也
入職 2015年
所属 生活支援担当

① 現在の業務

入職してから現在まで障害のある方の相談支援業務を担当しています。昨年までは地区の担当も持ち、地域団体の活動支援も兼務していました。

② 入職したきっかけ

前職は他市の社会福祉法人で障害者支援に携っていました。担当した方々の個別支援から始まり、グループを持ち、次に事業や事業所の運営に関わり…と少しずつ活動のスケールが広がっていく中、「次は地域をフィールドに仕事をしてみたい」と考えたことが転職のきっかけでした。

③ 社協の魅力・やりがい

相手（個人や地域）のために必要だと感じたことを、そのまま実践に移すことができる環境だと思います。数年前、新たに再編された地区の立ち上げ支援に関わった時は、地域のニーズに応えるべくだいぶ自由に動かさしてもらいました。

社協は社会福祉法人の中でも特に公共性が高い職場です。困っている方や地域のことを第一に考えることが、そのまま法人の目的に合致するのは分かりやすくして良いところだと思っています。

名前 千田 美央
入職 2014年
所属 生活支援担当

ある1日の流れ

- 8:30 出勤・朝礼
メールチェック
相談者電話対応
- 10:00 打ち合わせ
- 11:30 支援調整の為関係機関へ電話
- 12:00 休憩
- 13:30 担当ケースを訪問
- 15:00 相談記録を作成
- 16:00 相談者電話対応
- 17:15 臨時ケース対応
- 19:00 退勤

① 現在の業務

主に日常生活自立支援事業や法人後見事業、市民後見人養成事業を担当しています。入社時は総務担当で会費、共同募金等を担当していました。

② 入職したきっかけ

学生時代に市社協の学生向けボランティア講座（ユースボランティア）参加がきっかけで、福祉に興味を持ちました。大学卒業後は他市特養で勤務していましたが、地域福祉に関わりたく、大学時代の社会福祉士現場実習先でもある茅ヶ崎市社協に転職しました。

③ 社協の魅力・やりがい

多くの人や関係機関等と関わることが魅力ですが、自身も日々スキルアップできることは大きなやりがいとなっています。現在、産休育休を経て時短勤務中ですが、周囲の理解や協力体制が厚い職場環境だと思います。

ある1日の流れ

- 9:00 出勤（時短勤務）
- 9:15 ケース①
生活支援員送り出し
- 11:30 ケース①生活支援員から支援報告
- 12:00 休憩
- 13:00 ケース②新規訪問
事業説明等
- 15:00 記録
- 16:15 退勤（時短勤務）

◆法人概要（令和4年4月1日現在）

設立：昭和26年4月1日 法人認可：昭和53（1978）年2月1日

職員数：101名（うち正職員13名、登録ヘルパー・生活支援員等含む）

◆待遇

○給与

初任給：大学の新規卒業者 20万9千円/月（地域手当含む）

諸手当：通勤手当、扶養手当、住居手当、時間外勤務手当

賞与：期末・勤勉手当（年2回）4.30か月

昇給：年1回

（茅ヶ崎市役所の給料表を準用しています。）

平均給料月額例：大卒経験年数10年 26万2千円、大卒経験年数20年 36万5千円

○福利厚生

社会保険・労働保険、福利厚生センター・福利協会加入

○勤務時間及び休暇等

勤務時間：8時30分～17時15分

休日：週休2日制（基本は土日ですが、担当により勤務あり）

休暇：年次有給休暇20日、夏季休暇7日、育児休暇、介護休暇等

※その他、勤務条件は本会規程に定めるところによります。なお、採用されるまでに規定等の改正が行われた場合は、その定めるところによります。

◆担当と主な業務

法人の総務・経理

理事会、評議員会等の運営

計画の策定・推進管理

会費・共同募金・寄附の受付

広報（社協ちがさき、ホームページ他）

ボランティア等助成金

障害者ホームヘルプ事業

総務

生活
支援

地域
福祉

茅ヶ崎あんしんセンター

（日常生活自立支援事業・法人後見事業・市民後見人の養成）

障害者生活支援センター

ボランティアセンターの運営 ハンディキャブの運行

地区での相談支援・福祉活動の支援 重層的支援体制整備事業

生活支援体制整備事業

福祉相談 資金貸付事業（生活福祉資金・小口生活資金）

援護事業（小中学生入学祝金、修学旅行支援費の支給）

年末たすけあい慰問金の配分

職員募集HP

●お問い合わせ先

社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会

253-0044 神奈川県茅ヶ崎市新栄町13番44号

電話 0467-85-9650 FAX 0467-85-9651

E-mail eboshi@shakyo-chigasaki.or.jp

http://shakyo-chigasaki.or.jp/

